

医療機関 誘致 Vol.2

当別町では町内の医療環境の充実を目指して、医療機関誘致条例を制定し、支援策を講じて医療機関の誘致を進めています。

制度を活用した2件目の医療機関として、12月1日から獅子内に開院した「スウェーデンヒルズ耳鼻咽喉科」の東山院長にお話をお伺いしました。



東山佳澄医師

平成6年 高知医科大学医学部卒業、同大学附属病院、高知市立市民病院、東山耳鼻咽喉科医院院長を経て、本院を開院。一般社団法人横浜市磯子区医師会副理事長・監事を歴任。日本耳鼻咽喉科頭頸部外科学会認定専門医・認定補聴器相談医、身体障害者福祉法第15条指定医。

地域内で完結できる医療を目指す

横浜市で耳鼻科の2代目として開業して、市内で新しく住む場所を探していたところ、スウェーデンハウスのフェアで当別町を知ることになった。当別町で医療機関の誘致を進めていることを聞き、一昨年の夏にスウェーデンヒルズを見学し、移住と開業を決意しました。

専門は耳鼻咽喉科全般です。わざわざ遠くの病院に行かなくても、地域内で完結できる医療を目指しています。その一歩として、木・土曜日の診療は大学病院の耳鼻科の先生に入ってもらい、その時間を往診に充てる予定です。また、院内の検査機器も聴力検査、電子内視鏡、頭頸部CTなどを導入して、検査のために町外の病院に行く手間を減らします。手術が必要な症例の場合は、医師の派遣などで連携している大学病院等をご紹介します。

このほか、補聴器外来も設けていますので、診察を行ったうえで、その人に合った補聴器の選定をサポートします。

この時期は風邪をひきやすい季節です。風邪をひきにくくするためには、夜の鼻とどの乾燥を防ぐことが大事です。耳、鼻、のどに違和感を感じたらお気軽に受診ください。



スウェーデンヒルズ
耳鼻咽喉科



当別町獅子内 1122-10
TEL:27-6630

病院前にふれあいバス停留所を新設
バスで通院ができます

診療時間

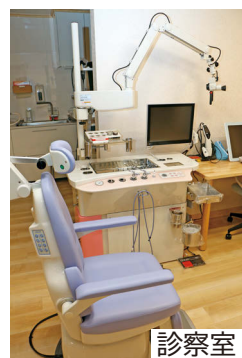
診療時間	月	火	水	木	金	土
9時～12時	○	○	○	※	○	※
14時～18時	○	○	○		○	

日曜・祝日：休診 ※木・土曜日は9時～13時

診療内容

- ・風邪症状をはじめとする耳、鼻、のどの疾患
- ・聴力検査、電子内視鏡、頭頸部CTなど各種検査
- ・補聴器外来
- ・その他 発熱外来、予防接種など

発熱外来専用電話番号 27-5566



馬術は馬とお互いに 信頼し合うことが大切

宮永 美寿津 さん



栃木国体トップスコアで高難度のジョーカー障害を飛越

ここに書ききれないエピソードや写真は
当別町ホームページ「現在を生きる+」
でご覧ください。



栃木国体馬術トップスコアで5位に入賞した宮永美寿津さんにお話をお聞きました。

祖父の影響で馬術の道へ

中央競馬の馬主であった祖父と一緒に、幼少期から牧場などを見学して馬と触れ合っていました。10歳の時、祖父の勧めで桑園の乗馬スポーツ少年団に入団。毎週土日に朝6時45分のJRに乗って通う生活を高校3年生まで続け、大学は馬術部のある大学の中から立教大学に進学しました。

大学に進学し初国体

大学馬術部時代は、祖父が馬主だったミヤノリュウオーとパートナーを組み、数々の競技会に参加、2010年にはふるさと制度を活用して北海道の国体予選で優勝することができ、千葉県で開催された国体に初参加しました。千葉県国体では少年団時代の先生であった大林さんの馬に騎乗させてもらい、ダービー競技4位入賞、翌年開催された山口国体でもその馬で標準障害3位に入賞しました。

北海道に戻って

2011年、高齢となったミヤノリュウオーと共に北海道に帰ることを決め、宮永建設に入社する予定でしたが、千葉国体の北海道監督であった楠木さんに誘われてノーザンホースパークに就職。ライディングショーやインストラクター、競走馬を一般乗馬できるよう調教するリトレーニングが主な仕事でした。この間も継続的に選手として国体へ参加するほか、サポートスタッフとして参加した2014年仁川アジア大会で銀メダルを獲得するなど、馬術漬けの毎日でしたが、2019年に当別に戻り宮永商事に入社しました。

会社員と馬術の2足のわらじを

馬術を続けるため、ノーザンホースパークの退職金で、若くて素質のある馬を購入。安平町の乗馬クラブに預けて、月水金は早朝に自馬の世話をしてから会社に出社、土日祝日に騎乗と障害練習を続け、今年の栃木国体に参加。初めて出場する種目、トップスコア

で5位に入賞することができました。これも馬術を続ける環境をつくってサポートし、理解してくれる家族と会社のおかげと、とても感謝しています。

また、大学時代に人との関わりを大切さを教わり、笑顔で挨拶をすること、困っている人がいたら手伝えることを意識した結果、多くの方々との繋がりが広がり、昨年から日本馬術連盟の理事に就きました。来年は北海道で6年ぶりに全日本障害馬術大会も開催されるので、より一層練習に励みます。

将来の夢は

近い目標は来年の全日本と国体に出場し入賞すること、将来は馬術をもっとメジャーなスポーツにすることが目標です。

馬術は馬というパートナーがいないと成り立たないスポーツです。馬は生き物なので馬の気持ちや体調によっては、うまくできないこともあります。お互いに信頼し合うことが大切です。私にとって馬は家族同様、かけがえのない存在です。